

『コロナ禍の中でも子どもたちの今を大切に』

ようやく広島県の緊急事態宣言が解除され少しだけホッとされたのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染者は5月中旬に広島県でも239人を記録し、大変心配しましたが、最近では20人前後で、坂町でも時折発生の報告もありますが、ワクチン接種も始まりましたので、いづれ少しずつ落ちつくものと思われます。ただし、最近ではウイルスの感染力が強まっていることと、子どもにはワクチンがありませんので、これまで通り細心の注意を払う必要があるものと思われます。

7月6日で西日本豪雨災害から3年を迎えます。この地域のハード面の工事は目に見えて進んでいますが、ソフト面では人との関わりや気持ちの整理ができず、不安を抱えている方もおられるようですが、この逆境を乗り越えた子ども達には心の強さや逞しさを感じています。散歩をしていると、「子どもたちの声を聞くと元気が出るよ。」など温かい言葉をいただきます。この地域で子ども達がいかに心の支えであるかを感じ、こうした子ども達と過ごし関われる事に身が引き締まる思いをしているところです。

先日、NHKの「あなたの苦手な事は何ですか？」という番組をみました。東京中野区の新渡戸稲吉さんが創立された伝統ある学園に赴任された先生が、東日本大震災の際にボランティアとして福島に行き、地元の子供達が震災の中で自分達の将来を前向きに語っているのに心を動かされ、自ら学び考え、社会で生きる力を身につけることの大切さを感じたということでした。それには、ああしなさい、こうしなさいと言われるのではなく、まずは子ども自身が好きなことへ向き合うことが大切であること。好きなことがあることによって興味や関心が広がり、一見関係ないような力も一緒に伸びていく。風呂敷の真ん中をつまむと回りも一緒に上がってくる風呂敷理論だそうです。だから好きなことは我慢せずにどんどんやらせる。苦手なことは将来の可能性として後に回すということも楽しいですね。

現在、園でも好きなことを選んで遊ぶことで、主体的に活動し学びに向かう力をつくる場として、自ら遊びを選択し

たり、異年齢児と一緒に楽しめる「ミックスジュースの日」を作りました。その中には運動あそびのコーナーがありますが、先日マットを丸めた高いところからジャンプしていかに遠くまで跳ぶ事が出来るかを楽しんでいる幼児組の子がいました。最初のうち納得がいけないのか段々表情が真剣になり、一緒にいた友だちからのアドバイスを聞くものの、自分で納得がいけないのか繰り返し挑戦していましたが、ついに高く跳ぶことで遠くまでいくことを習得したのです。「わあすごい！」という回りの声に少しびっくりしたようでしたが、その時の満足感は自信につながったことでしょう。楽しいことだけでなく自分で選び挑戦することの大切さを改めて感じたところです。「ミックスジュースの日」がどのようなあそびに広がっていくのかわくわくしてきます。また、6月に入ると雨上がりや暑い日には水を使ったあそびが始まりました。さまざまな感触を味わったり、試したり工夫したり、少しずつダイナミックなあそびも見られてきました。一人ひとりが主体的にあそび、あそびの中に学びがあるように、職員も子ども達の姿を読み取りながら、認め、励ましたり一緒に考え悩みを共有していきながら、好奇心を育む豊かな経験が出来るようにしていきたいと思います。

7月には年長児がお泊まり保育に出かけます。お泊まり保育では自分の身の回りのことは自分でやるという目的があります。ご家庭や保育園で今まで身につけてきた生活習慣が、お泊まり保育でも実行出来るように、お家でも励ましや自信につながる言葉をかけていただけたらと思います。いつもとは違う環境でたくさんの人と関わりながら、いろいろな経験を楽しんでくれたらと思います。年長児保護者のみなさん以外にも、年長児にぜひ声をかけていただけたらと思います。そういった大人の関わりの中で、子どもたちは自分に対する自信を持つようになると思います。

主任



ミックスジュースの日

ミックスジュースみたいにみんなであそびまわってあそぼう！あそぼう！

廃材をプールの中にゼーンぶ入れちゃった箱がからっぽになったらあそびがつながっていくね

ボールプールがいつのまにか色々な廃材を入れると色々な音も楽しいね



そこに山があるからそこに竹があるからそこに水があるからあそびがひろがるね



「おなじ」も たのしい「ちがう」も おもしろいね



水あそびがはじまります！



夏一番の楽しみは、水あそびです。思いっきり遊んだ後は、汗もたくさんかいています。

いよいよ9日はプール開きです。水の心地よさを感じながら、思いっきり夏のあそびを楽しみたいと思います。また安全面には十分注意しながら楽しくすすめていきたいと思しますので、**早寝、早起き、朝ごはん**の習慣が身につくよう、ご家庭でもお願いしたいと思います。

- 水あそびをしても良いかどうかを毎日忘れずチェック簿に記入して、お知らせください。
- **発熱・下痢・目やに・とびひ**などお子さんの体調をよく見てご記入ください。

たなばた



7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだお話や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(彦星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。

この二人は仲がよすぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度、7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

「なるほど 行事ブック」参照